

コンビニ配送にEV3tトラックを導入。8月初旬から新港営業所で運用開始。



▲『ELF EV（エルフ EV）』。化石燃料を使わず、電気のみで走行する車種。

南日本運輸倉庫株式会社（代表取締役社長 大園 圭一郎、本社 東京都中野区）では、8月初旬から、コンビニエンスストアへのチルド・フロースン配送にBEV（バッテリー式電気自動車）トラックを導入した。

BEVトラックのCO2排出量（1台／年間）は従来のディーゼル車と比較して13%削減となる見込みで、導入にあたり新港営業所（千葉県千葉市美浜区新港）には専用充電器が設置された。

車種は、いすゞ自動車株式会社（代表取締役社長 南 真介、本社 神奈川県横浜市）の「ELF EV（エルフ EV）」。これは同社初となる量産バッテリー搭載の商用BEV車となっている。

実際に乗車したドライバーからは「音が静か」「走り出しがスムーズ」など、評判も上々だ。

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000024.000061803.html>

南日本運輸倉庫株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/61803